

正誤表（2008.3.20 現在）

フロストとボンディ著

絵カード交換式コミュニケーション・システム

トレーニング・マニュアル第2版（NPO それいゆ, 2006）

Lori Frost & Andy Bondy (2002).

The Picture Exchange Communication System : Training Manual 2nd Edition,
Pyramid Educational Products, Inc., Newark, DE.

初版第1刷（2005年12月発行）の正誤表

頁	行	誤（'05.12.28 初版第1刷）	訂正
xi,77 104,144 167,200 213,232		リラックスした	気楽な
xii		スケジュールの表	p.365（訂正は後述）に合わせる
12	7-	変化は、子どもに...	変化は、子どもにはわからないほど小さなものですが、教師には十分にわかるほどのものにするのが重要です。
	13	スキルに関して〈他者〉に関する	スキルに関係する〈他者〉の問題
	18	一日の	1日のうち
13	下から9	機会学習	機会利用型学習
31	8	主目的ですが	主目的なので
46	下から16	ルーティンに	日常的に
51	3	1日を通した、また毎日	1日を通して毎日
52	12-13	やりとりを行ない	やりとりするようになり
	21	やりとりを渉する	やりとりをする
53	2-3	すぐに手に入るのに、わざわざ自分のほしいものや必要なものを	すぐ手に入るのに、自分のほしいものや必要なものをわざわざ
	下から15	期待できる	期待する
56	3	子どもを有効な好子に接触させる	子どもが有効な好子を手に入れるという
	16	好みのアセスメント	好子のアセスメント
	下から12	階層	序列
	下から8	ランクづけ	順位づけ
57	3	階層表	序列表

60	下から 2	好子の階層を作ったら	好子に序列をつけたら
62	3	この後もたくさん出てくる 〈マジックテープ〉	マジックテープは面ファスナーの 商品名なのですべて®をつけます
67	下から 5	差し出し	手渡し
	下から 3	では本当の	ではまだ本当の
	最終行	「先生」(これ以後も出てきま すが)	(原則として)「トレーナー」に続 —
68	最終行	教え方は後にまわします	教え方については、もっと後で説 明します
69	17	行ってはいけません	だけですませてはいけません
75	5	それから	その後
	16	次の好子	他の好子
	24	見せる	使う
77	5	理想的には	(削除)
80		スケジュールの表	p.365 (訂正は後述) に合わせる
82	下から 10	代替・拡大	拡大・代替
83	5	あれがほしい	それがほしい
86	第 5 試行	FF	FP
89	フェイズⅣ	文章カード	文カード
96	20-22	のところにいき、トレーナー の手の中に絵カードを入れる ことになりました	の方に手を伸ばし、トレーナーの 手の中に絵カードを入れるはず です
	下から 10	大人のところに持って行く	トレーナーの方に手を伸ばす
	下から 9-8	のところにいくとき	の方に手を伸ばすとき
	下から 7	上体を少し前に傾けなければ	もう少し手を伸ばさなければ
	下から 3	体を前に伸ばさなければ	手を伸ばさなければ
	下から 2	トレーナーのところにいくに は	トレーナーまで手を伸ばすには
97	下から 9	対人的なやりとりの外部から	パートナーとのやりとりの外から
99	下から 3	〈好物〉	〈好子〉
101	下から 11-	子どもにコミュニケーション・パート ナーとコミュニケーションを取ることに気づか せる	コミュニケーション・パート ナーとコミュニケーションを取るこ とを子どもに気づかせている
103	15	前でも,	ときにも,
	16	見るのを	見てくれるのを
106	左コラム	3種の	右のような
110	15	手を差し出すこと	手を伸ばすこと
112		スケジュールの表	p.365 (訂正は後述) に合わせる

116	5と6	ボード	ブック
	19-21	コントロールするための方法として、コミュニケーション・ブックやその中の絵カードを取り去ることは、	コミュニケーション・ブックやその中の絵カードを取り去って、子どもをコントロールすることは、
117	上の表	聞き手までの距離始め3、終り8	始め0、終り3
	下の表	聞き手までの距離始め1	3
		自力試行数4	3
		ブックまでの距離(記入なし)	始め0、終り2
	8箇所	目標距離までの	目標距離での
118	表	ボードへの移動、ボードとの距離	ブックへの移動、ブックとの距離
123	下から10	具体的な	物的な
	下から4	場面で般化	場面に般化
124		くつしたとチップスの絵が抜けている	くつしたは p.130 チップスは p.123
127	15-17	それは明るい声の正のフィードバックではなく負のフィードバックなのだ、子どもが	それを明るい声の正のフィードバックではなく、負のフィードバックとして子どもが
128	7	ブックの中の	ブックの表紙の
134	1	エラーのない学習法	エラーレス学習
	16-17	カードに対して欲しいアイテムの	カードではなく望みの
138	最終行	その表紙に対応する絵カードを2枚	対応する絵カードを2枚表紙に
139	下から3	手を伸ばした	手を伸ばした(リーチした)
	最終行	「リーチのティーチ」	「リーチをティーチ(せよ)」
	下から3	「続けなさい」など	「続けて」「どうぞ」など
142	6	これらはすべて選択可能です	これが選択肢のすべてです
144	17	弁別トレーニングを始めて、	弁別トレーニングに入って
145	14	コミュニケーション交換	コミュニケーションのやりとり
146	14	アイテムが依然	アイテムに依然
	表の6行	いろいろな標的絵カード	その絵カード
	表の8行	好みではない	(要求に応じて)好みではない
	表の9行	反応を引き出す	反応が出る
148	表の9行	「手伝ってほしい」要求	「手伝ってください」
		「...を手伝ってほしい」	「...を手伝ってください」
159-	何箇所も	文章カード	文カード

162	7	伝えようとしてます	伝えるようになっていきます
164	24-	読むときに指差すことを習得したら、次のステップは、... 与えることです。	読むときに、子どもが絵カードを指差すようになったら、次は、... 与えます。
165	2	パートナーに	パートナーに向かって
173	7	渡します。	渡して物的に強化します。
174	表	6番目の⇒を	黒く塗りつぶす
176	下から 11-	こうしたスキルがない... 重要度が低いのです。	機能的コミュニケーション・スキルがない子どもにとっては、そのスキルを獲得することの方が、どんなコミュニケーション様式を使うかということよりも重要です。
178	絵	〈ください〉絵カードは	右列の絵カードと入れ替える
186	注意の5	手本	例
190	6-	理想的には、	(削除)
	8	嫌いなアイテムを示すものにします	好まないアイテムを示すものにする とよい
199	9	ブロック	積み木
210	コラムの中の 4行目	その行動を強化できるということが知られています。	そしてその行動は強化されるのです。
211	5	触ることです	触るかすることです
213	12	中に PECS 語彙を組み入れて	中で PECS の語彙を増やして
214	1	求められているか	期待しているか
215	表の9行	「手伝ってほしい」要求	「手伝ってください」
		「... を手伝ってほしい」	「... を手伝ってください」
216	2の先頭行	終わりで	初めで
218	説明3行目	その後は3秒遅れて	3秒と遅れて
224	15	のアイコン	(削除)
226	イラスト	吹き出しと手のイラスト	右端<みえる>カードを差す位置に
227	下から5	作り出して	設定して
230	1	次のような活動を順に	次のような順で
232	11,12,16	〈単位〉	〈単元〉
235	表の中	手伝ってほしい	手伝ってください
236	20	実用的	機能的
237	表中4箇所	アイテム	絵カード
244	表の中	手伝ってほしい	手伝ってください
245	イラスト	たすけて	てつだって
	11	シンボル	アイコン

	下から 4,3	シンボル	アイコン
246-7	12 加所	たすけて	てつだって
246	4 加所	シンボル	アイコン
249	下から 7,5	エラーなし	エラーレス
253	下から 11	行動〈に対応して〉	行動が生じて〈から〉
255	左コラム	“好子第一”	“まず好子”
256	イラスト	〈ください〉カードと〈休けい〉4枚	両者を入れ替える
259	10-11	前にこの見慣れないアイテム	までにこの見慣れないカード
260	左コラム	〈待ち〉カード	〈まって〉カード
261	9	トークン	小物
	13	応じられる	応じる
266	下から 2,1	いるということになります。	いるかもしれないと考えましょう
269	12	プロンプトはやめていく	この身体プロンプトはやめていく
	13	さらに別種	言葉による2つ目
	15	ようになるまで、〈連鎖の	ように、〈行動連鎖の
	16	プロンプトをやめて	プロンプトを徐々にやめて
281	下から 14-9	ルーチンが完全な日もあるのです。ルーチンの中で要求することを教わっている子どもは、アイテムがあってもなくても要求します。子どもは基本的には、ある時点でアイテムを要求するという、ルーチンの新しい流れを習得しています。子どもはルーチンが完全か不完全かの弁別は習得していません。	ルーチンが完全な日もあるようにします。ルーチンの中で要求することを教わった子どもが、アイテムがあってもなくても要求するのを見たことがあります。そのような子どもは実は、途中でアイテムを要求するというルーチンの新しい流れを習得してしまったのです。そのような子どもはルーチンが完全か不完全かの弁別を習得してはいないのです。
	下から 7	1日の	いつも
	下から 5	設けるようにします。	設けることもできます。
	最終行	を用意することが	を食べる用意をする
282	下から 13	先生は	先生には
		選ぶように	選ぶことを
283	6	強化的でなければ	強化的なものになっていなければ
	12	ルーチンが	ルーチン自体が
	14	後のことのために	ら何があるかを教えて
	14	強化的なことを子どもに教え	強化的になるようにし
	17-18	ブックを持って行くか、活動ボードを持って行くかを	ブックや活動ボードを使えるように

	19	リストに	(削除)
	20-21	アイテムは、その名称を教えることができるかもしれません。	アイテムは、教えるべき語彙の候補になります。
	下から 4,3	妨害すると、様々なアイテムを子どもは要求します。	妨害して、様々なアイテムを子どもが要求するようにします。
285-7	表題		右肩に◎をつける
286-7	4カ所	11/9,10,17と12/10の反応欄	「+」でも「-」でもなく空欄にする
291-	この章全部	先生	トレーナー
291	下から 5	例えば、レッスンで習得したことが分かるように、行動が変わることです	例えば、習得したということが分かるような行動の変化です
293	17と32	特別なカード	特別な契約カード
	下から 2	換えるまでは	換えるようになるまでは
295	下から 5	変わっても	変わったら
298	10	使います。子どもは	使ったときのように、子どもは
	左コラム	(2001)	(2002)
301	下から 10	PECS での	PECS による
312	4	それぞれのオペラントの	(削除)
	6	(p.326	(本書 p.326
321	13-15	〈聞き手〉がその環境内のどこにいようと探し出すことを子どもに教えるために、聞き手は徐々に子どもから離れていくようにします。	聞き手は徐々に子どもから離れていくようにします。〈聞き手〉がその環境内のどこにいようと探し出すことを子どもに教えるためです。
329	Bondy & Frost(2001)	の次に追加する	Bodny,A. & Sulzer-Azaroff,B.(2002). The Pyramid Approach to Education in Autism. Newark, DE: Pyramid Educational Products, Inc.
338	5カ所	助けて	手伝って
	待つ-b 欄	操作性や双方向性のあるおもちゃ	操作型/対話型のおもちゃ
365	10	手伝ってほしい	手伝ってください
371		アイコン	絵カード
372	12カ所	目標距離までの	目標距離での
374		アイコン	絵カード
378		アイコン	絵カード

385	2カ所	両方の	2つの
386	2カ所	両方の	2つの
	下から8	分かっている	できる
387	1カ所	両方の	2つの
388		〇〇〇キャンディ	(ムムム)キャンディ
	1カ所	両方の	2つの
394		時間： _____ v _____	時間： _____
401	6	educational	social or educational
	7	material	tangible
	12	educational	social or educational
	14	material	tangible

改版第1刷（2006年10月発行）の正誤表

頁	行	誤（'06.10.31 改版第1刷）	訂正
viii	12	オーム返し	オウム返し
18	25	文章カード	文カード
58	中段	1.	4.
101	下から10-11	, すべてのプロンプトや合図を	プロンプトや合図を, すべて
137	15	その場合,	削除
170	最後部分	(3行欠落しています)	くあります。常に空の容器を手元に置いておくと便利です。子どもがシャボン玉を要求するとき, 空の容器を見せればよいわけです。
176	下から12	対して使われる	どの
	下から13	様式は,	様式を使うかということは,
211	4	好子絵カード	文カード
	5	好子アイコン	文カード
		イラストでは好子絵カードを指さしている	文カードを指さすようイラストを修正してください
212	2	好子の絵カード	文カード
	3	好子アイコン	文カード
	8	好子アイコン	文カード
216	18	好子アイコン	文カード
	21	アイコン	文カード
	22	絵カード	文カード
226	3	〈みえる〉アイコン	文カード
	4	〈みえる〉アイコン	文カード

		イラストでは〈みえる〉アイコンを指さしている	文カードを指さすようイラストを修正してください
227	1	〈みえる〉アイコン	文カード
	7	〈みえる〉アイコン	文カード
236	20-22	応答のコメントを教え、それから自発的なコメントに取り組むかどうか考えます。	すなわち、応答のコメントを教えるとよいでしょう。それから自発的なコメントにも取り組むかどうかを考えればよいでしょう。
267	14	好子第一	まず好子
292	1	2001	2002
293-296	18	「できたら」	「がんばったら」
	イラスト6葉	「できたら」	「がんばったら」
313	上の表	人的/教育的/聞き手への影響	聞き手への人的/教育的影響
374	タイトル	試行毎のデータ	事例データ
本書全体	あちこち	ピラミッド教育法	ピラミッド教育アプローチ